



一般事務員 心理

子ども家庭局 子ども総合センター



こばやし 小林 ゆきの

平成31年度入職

入職後の経歴

平成31年度 入職 子ども家庭局 子ども総合センター



Q 北九州市役所を志望したきっかけについて教えてください。

A 私は大学・大学院と心理学を専攻してきました。学んできたことを生かして仕事をしたいと思っていたところ、北九州市には心理職としての募集枠があったことから、北九州市に関心を持ちました。北九州市で働いている先輩にお話を聞きしたり、北九州市の取組について調べたりする中で、より住みやすいまちをつくるため、市全体で積極的に新しいことに挑戦していることを知りました。こうした自治体で働くことでやりがいを感じられそうだと思い、北九州市への入職を志望しました。



Q 現在ご担当されている業務の内容について教えてください。

A 児童相談所のイメージとして、メディア等で取り上げられることの多い児童虐待への対応というイメージが強いと思いますが、発達障害や知的障害等を含めた発達特性についての相談、不登校相談、非行相談など、相談内容は様々です。また、それぞれの相談内容は一概にカテゴリー化できるものではなく、複雑に絡み合っていることが多いと感じます。相談に来られた方が何に困っているのかを考え、少しでも状況が良くなるようにと、その家族に寄り添う仕事です。



Q 現在ご担当されている業務を遂行するために、どんなことを意識したりして仕事をしていますか。

A とても責任の大きな仕事であることを常に意識しています。関わり方によって、その家族に与える影響は計り知れません。支援の方向性を図り間違えないよう、常に上司や同僚の方に相談しながら、リスク要因をアセスメントするよう心掛けています。



Q 現在の担当業務を行う中で起こった、特に印象に残っている出来事について教えてください。

A 仕事の関係上、具体的な話はあまりできないのですが、保護者や子どもの気持ちに寄り添い、一緒に考えていくことを大事にしています。そうすることで、保護者や子どもがいつでも相談しやすい関係ができるよう意識しています。関係がつくれていくことで相談してくださる内容にも変化があり、そこから支援の様々なヒントを得ることは、非常に多いと感じています。

Q 現在の担当業務を含めて、これまでの職場の雰囲気や上司、同僚との関わりなどの観点から、働きやすさについてのお考えを聞かせてください。

A チームワークが抜群で、働きやすい環境です。適切な見立てとサポートをしてくださる上司、親身になって一緒に考えてくれる同僚、悩んでいる時に励ましてくれる同期。尊敬する方々に囲まれて働けていることに、とても幸せを感じています。

Q 現在の担当業務に取り組む中で、どのような点に仕事のやりがいや面白さを感じますか。

A 様々な家庭や考え方の相談者と触れ合い、驚きの発見をしたり、新たな視点をいただいたりと、日々学ばせていただいている。相談者と一緒に考え、少しでも状況が良くなった時には、特にやりがいを感じます。

Q 北九州市職員として働いていてよかった、感じる点があれば具体的に教えてください。

A この職場は様々な福利厚生の制度が整っており、仕事とプライベートの両立がしやすいです。仕事に追われるのではなく、自分の人生プラン中に仕事をどう位置付けていくか、という視点で働くことはとても魅力的です。また、仕事とプライベートなど、今の自分のあり方を見つめ直していくような研修等もあります。そのため働きやすく、長く続けやすい職場であると感じます。